

該当箇所	質疑・意見等	回答
第2回資料全般	<p>資料にも述べられている通り、相談者の中には重層的な問題を抱えている方が多くおられます。</p> <p>その意味で、来年度から流山市がこの事業を実施されることは大変意義があると思います。つきましては、この事業の成果を上げるために次のことを計画に盛り込んでいただきたい。</p> <p>①福祉部内の部署だけでなく、消費者センターなど市役所の他部署や保健所・医療機関など市役所外の機関とも広く連携をとって問題解決に取り組む体制を作ること</p> <p>②すべての相談ごとについて一番最初の面談はとても大切です。新しい窓口の職員だけでなく、既存の窓口職員についても継続して相談技術のスキルアップができる研修体制を作ること</p> <p>③この事業を円滑に実施するため日ごろから市民の相談について縦割りを排して協力し合うこと</p>	<p>①重層的支援会議には、ケースに応じて消費生活センターや保健所、医療機関など、市役所内外の機関に出席を求め、広く連携をとって問題解決に取り組む体制を作ります。下記のとおり計画に追記します。</p> <p>第2回配布資料2-2 P6 重層的支援会議の構成メンバー 及び p7 支援会議の構成メンバー</p> <p>「その他必要に応じて、庁内外の関係機関に出席を求める。」</p> <p>②多機関協働事業による会議の機会をとらえ、関係者の研修を実施します。</p> <p>③本事業の体制を検討する段階から、各部署の代表によるプロジェクトチームによる検討を行っており、プロジェクトチームメンバーにより、部署間の縦割りを排するよう、職員の意識改革を図ります。</p>
第2回配布資料2－2 5p	<p>「地域なんでも相談員」についての運営形態について</p> <ul style="list-style-type: none">・相談窓口のような形態なのか、あるいは、各地域に相談員を派遣するのか・高齢者、障害者、子供、生活困窮者など、対象者別に何名の人たちに対して何名の相談員を配置するのか。・地域別にどのように分けるのか。	<p>(仮称) 地域なんでも相談員については、市内全域・すべての対象者に対して、2～3人程度の配置とし、拠点をも1箇所設ける予定ですが、拠点で相談が来るのを待つのではなく、地区社会福祉協議会、自治会の行事など、地域に出向いて地域の人々と関係づくりに取り組み、アウトリーチにより、自ら相談に来られない方や相談に拒否的な方の相談ニーズを吸い上げることを目指します。</p>